

18 急性期脳卒中患者の 脳卒中地域連携パス適用率

指標の解説

- パスとはクリニカルパスの略語であり、「治療計画」を意味する。
- 脳卒中患者のリハビリテーションは、その治療成績を左右する要因の一つであり、急性期から回復期へのシームレスな移行が重要である。
- 急性期脳卒中中で入院した患者が、脳卒中連携パスを利用して地域の回復期リハビリテーション病院へスムーズに転院し、専門的なリハビリテーションを継続できることが治療成績の向上につながる。
- 当該パスの適用率が高ければ、地域との連携を含めた適切な治療を計画的に行う努力をしていると評価できる。

分子：脳卒中地域連携パスを利用した入院患者数

分母：最も医療資源を投入した傷病名が脳卒中（脳梗塞、くも膜下出血）であるもののうち、発症後3日以内に入院した患者数

